

日名条だより(秋の増刊号)

令和元年9月1日
日名条自治会会長 島本忠直

8月最終週の長雨で、すっかり秋らしくなりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。9月・10月に予定されております行事についてお知らせします。

1、 第16回広島県立広島中学校・広島高等学校運動会について

日時：9月11日（水）午前9時10分～午後3時30分

（学校開門は午前8時）

*別紙ご参照ください。

2、 貴船神社秋祭りについて（壮青年会）

9月22日（日）宵宮祭・バザー・神楽

*今年からバザー券（各戸1枚配布）は、うどん・綿菓子・ラムネ限定！
缶ビールは300円、うどんは200円、綿菓子・ラムネは100円で販売します。

9月23日（月・秋分の日）祭典・みこし・慰労会

*別紙ご参照ください。

はっぴ（法被）の必要数・慰労会参加者の人数を別紙表にご記入ください。

3、 高屋西小学校区区民スポーツ大会参加者募集について

（青少年育成部）

10月26日（土）8時30分 から高屋西小学校グラウンド（雨天時：体育館）にて開催されますが、参加される選手名簿を9月15日（日）に決定したいので、別紙ご参照の上名簿にご記入ください。

また、ご依頼する際にはご協力の程、よろしくお願いたします。

令和元年8月27日

地域の皆様へ

広島県立広島中学校
広島県立広島高等学校
校長 諸藤 孝則

第16回広島県立広島中学校・広島高等学校運動会について（案内）

日中は今なお厳しい暑さが続いておりますが、皆様にはますます御清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、本校の教育活動に深い御理解と御協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、第16回広島県立広島中学校・広島高等学校運動会を、次のとおり実施いたします。

つきましては、この機会にぜひ御来校いただき、生徒のはつらつとした姿を御覧くださいませよう、御案内申し上げます。

また、8月22日（木）には始業式を行い、授業がスタートいたしました。すでに運動会の練習を行っており、御迷惑をおかけしておりますが、何卒御理解、御協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

- 1 日時 令和元年9月11日（水）
午前9時10分開会～午後3時30分終了 予定
*学校開門は午前8時から
*雨天の場合 9月12日（木）、9月13日（金）に順延
*9月11日（水）・12日（木）・13日（金）の3日とも雨天の場合は、運動会を中止いたします。
- 2 場所 本校グラウンド
- 3 その他 駐車場はありませんので御協力ください。
延期、中止の判断は、当日の朝7時にいたしますので、7時10分以降に学校のHPで御確認ください。
※HPアドレス <http://www.hcyuko.hiroshima-c.ed.jp>

秋祭りのスケジュール

初日(宵祭)

☆ **9月22日** (日曜日)

- (1) 祭典————午後6時から
- (2) 神楽の奉納————午後6時30分から
- (3) バザー ————午後4時30分頃から同8時まで
 <販売//綿菓子,ラムネ(100円) うどん(200円) 缶ビール(300円)>
 (※各戸に配布の「バザー券」1枚で上記一品と引き換え(缶ビール除く)ができます。



2日目(本祭)

☆ **9月23日** (月曜日,秋分の日)

- (1) 祭典(玉串奉納/おはらい)————午前8時から
拜殿 <*祭典後、地域の神主代行3組6名が各戸を訪問し希望世帯におはらいと貴船神社の「御神米」をお渡しします。>

- (2) みこし ———— **大人用** ~ 12時50分
集合(出発) [▼途中,休憩所あり] <経路図,参照>
 緑ヶ丘入口引継ぎ⇒ 地域巡回⇒ 貴船神社まで (終了予定 14:30) ~ 収納作業
子人用 ~ 13時00分
 第2公園から出発(大人に続き巡回)

- (3) 慰労会 ———— (開始) 午後3時頃 ~ <貴船神社境内>

要/申込み

*みこしの担ぎ手、同行者、運営者など(申込者)集合して下さい。
 *壮青年会、同 協力班(自治会11班)、青少年成育部(小学校PTA)他みなさんのご好意により開催します。



☆お隣ご近所に声をかけ合い
 また、お誘い合わせのうえ
 多くのみなさんの
 ご協力・参加をお願いします...

◆お宮での祭りの準備・作業について

- * 9/15・22日→ 幟旗立て、法被の貸し出し、看板・テントの設置、バザーの準備
- * 同 23日→ みこしの手入・組立、おはらい * 同 24日→ 幟、看板、テント後片付け

上記のこの作業は、お宮の世話人、壮青年会(祭担当)、自治会有志で行います。

高屋の貴船神社には、二柱の神様が祀られています。

- 1、祭神：高たか竈かみ神と猿田彦大神
- 2、猿田彦大神

◎猿田彦大神は、ものごとの最初に御出現になり万事最も善い方へ

“おみちびき”になる大神で、古事記、日本書紀などにも「国初のみぎり天孫をこの国土に御啓行（みちひらき）になられた」と伝えられています。大神は天孫をおみちびきの後、伊勢の地を本拠として国土の開拓を指導され、垂仁天皇の御代に皇女倭姫命が神宮鎮座の地を求めて諸国を巡歴されたときに、大神の御裔（みすえ）の大田命（おおたのみこと）が祖神、猿田彦大神と同じく御先導され、五十鈴川の川上一帯の霊地を御献上、伊勢の神宮の御創建に尽くされました。大神の子孫は宇治土公（うじのつちぎみ）と称し、以来、永く玉串大内人（たまくしおおうんど）という特殊な職掌に任ぜられ、伊勢の神宮に奉仕してきました。

参考）天孫降臨（てんそんこうりん）とは、日本神話において、天孫である邇邇藝命（ににぎのみこと）が、天照大神の神勅を受けて葦原の中つ国を治めるために高天原から日向国の高千穂峰へ天降（あまくだ）ったこと。邇邇藝命は天照大神から授かった三種の神器をたずさえ、天兒屋命（あまのこやねのみこと）などの神々を連れて、高天原から地上へと向かう途中、猿田毘古神（さるたひこのかみ）が案内をし、邇邇藝命は筑紫の日向（ひむか）の高千穂に降り立ったという、『記紀（古事記と日本書紀）』に記された日本神話である。

◎大神の御神徳を仰ぐ崇敬者は全国に広く、方位除、地祭、土地開発、開業、災除、家業繁栄、交通安全、病氣平癒、開運、進路進学開拓、などの御祈禱が連日行われています。

- 3、高屋の貴船神社では、いつ頃のことか定かではありませんが、上記の猿田彦大神を勧請して、二つの神様を祀り始めました。
- 4、高屋には、4世紀末には白鳥古墳が造られ、さらに古代山陽道が通っていたとも言われていますし、白鳳時代（天武天皇の時代・6世紀末7世紀初頭）には、巨大神殿が建立されていました。白鳥古墳内には、三種の神器と同種の副葬品が埋葬されていました。その古墳の上に、日本武尊を主神とする白鳥神社が建てられています。現在東広島市中央図書館に展示されがています。巨大神殿跡は、西本6号遺跡と言われ、現在のあすかパーク内の公園にその跡が残されています。その後、高屋は朝廷の食糧をつかさどる大炊寮の荘園「高屋保」として、朝廷・京都とのつながりの強い地域となります。
- 5、高屋は、瀬戸内式気候区内にあり、もともと降水量の少ない地域ですが、入野川周辺の低地では、地下の岩盤が浅く雨が降れば水田はザブ田状態になり、それより少し高い丘陵地では、水不足を補うために溜池が多く作られています。昔から、水には苦勞していた地域です。
- 6、このようなことから、高屋の地では、「水の神様」と「道を切り開く神様」を大切に祀ってきたこともなんとなく理解できるようです。

京都の貴船神社—貴布禰総本宮—

本宮—高龍神^{たかりゅうのかみ} = 伊弉諾尊^{いさなののみこと}の御子神、水を司る神

結社—磐長姫命^{いわながひめのみこと} = 木花開耶姫命^{このはなさくひめのみこと}の姉姫

奥宮—高龍神 = 船玉神としての信仰も篤い（一説には^{くろおみのかみ}闇龍神、^{たまよりめ}玉依姫命も祀られていると伝わる）

高龍神・闇龍神については、社記には「呼び名は違っても同じ神なり」と記されている。

降雨・止雨を司る龍神であり、雲を呼び、雨を降らせ、陽を招き、降った雨を地中に蓄えさせて、それを少しずつ適量を湧き出させる働きを司る神である。

一般には、高龍は「山上の龍神」、闇龍は「谷底暗闇の龍神」といわれている。

水は万物の命の源。生きとし生けるものが命をつなぐために片時もおろそかにすることができない大切な水の供給を司る「水源の神」なのである。

由緒—御社殿の御創建を明記するものは何もない。ゆえに創建の年代は不詳ながら、天武天皇白鳳6年（約1300年前）にはすでに御社殿造替が行われたとの社伝があることから、貴船神社の創建年代は極めて古い。貴船神社の起源については、貴船大神が御鎮座することになった伝説が記されている社記の中に見ることができる。

社記—「国家安穩・万民守護のため、太古“丑の年の丑の月の丑の日”に、天上より貴船山中腹、鏡岩に天降り」とあり、よって“丑の日”が縁日とされているゆえんである。

また別の伝説には、第18代反正天皇の御代（約1600年前）、初代神武天皇の皇母・玉依姫命が御出現になり、「吾は皇母玉依姫なり。恒に雨風を司り以て國を潤し土を養う。また黎民の諸願には福運を蒙らしむ。よって吾が船の止まる処に祠を造るべし。」と宣り給ひ、「雨風の國潤養土の徳を尊び、その源を求めて黄船に乗り、浪花の津から淀川、鴨川をさかのぼり、その源流である貴船川の上流のこの地（現奥宮）に至り、清水の湧き出づる靈境吹井を認め、一字の祠を建てて水神を奉齋す」とあり、“黄船の宮”と崇められることになったと伝えられている。

【貴船大神の御出生】

貴船大神の御誕生の神話は、「古事記」「日本書紀」に登場する。

○「古事記」には次のように記されている。

「伊弉諾命^{いさなののみこと}と伊弉冉命^{いさなみののみこと}の夫婦神が力を合わせ、この地上にいろいろな神様をお生みになりました。そして伊弉冉命が最後に火の神をお生みになったとき、その火に身を焼かれ、ついに亡くなってしまわれた。伊弉諾命はくただこの一人の子のために、わが愛妻を犠牲にしまった・・・」と恨み言を言われた。嘆き悲しみ涙した伊弉諾命。やがて憎しみ、腰に下げていた“^{とつねつるぎ}十握劍”を抜き、火の神を断ち切ってしまった。劍の刃滴る血、鏑から滴る血、劍先から滴る血、劍の柄から滴る血、各々が神となった。（中略）劍の柄に溜まり、指の間から漏れ流れ滴る血がそそいで神となった。名付けて『^{くろおみ}闇龍』という。」

○「日本書紀」には次のように記されている。

「一書（第七）にいう。伊弉諾尊が劍を抜いて、軻遇突智（火の神）を斬って、三つに断たれた。その一つは雷の神となった。一つは大山祇神となった。一つは「高龍」となった。」

一説には、本宮には『高龍神』、奥宮には『闇龍神』が祀られていると伝えられているが、社記には「呼び名は違っても同じかみなり」と記されている。

「神社考」によれば、『高龍は龍神也、貴布禰明神是也』とある。ちなみに『高龍神』の『龍』という漢字は『釋日本紀』（卜部兼方撰）によると『龍蛇の類をいう』とあり、“龍は雨を司る”との龍神信仰と深い関わりがあることがこの字から窺い知ることができる。さらに『高龍』の「高」は「たけ」の意で、「健」「猛」と同義語。対して、『闇龍』の「闇」は「深い暗い谷底」という意味。即ち「暗い谷の荒々しい猛蛇」という意味になる。

かくして、火の神から生まれた神は、水神『高龍神』というわけなのである。人間にとって火はとても大事なものであるが、使い方を間違えると大きな災いを招く。その荒ぶる火を鎮めるために、火の神から水神が誕生したのである。火を鎮められるのは水だけである。ここに、火と水の大事な関係を窺い知ることができる。

（貴船神社のホームページより）

回 覧

日名条地区の皆様へ

青少年育成部
江淵・鈴木・吉村

高屋西小学校区区民スポーツ大会参加者募集のお知らせ

朝夕の風に秋の気配を感じるようになりました。
日頃より、青少年育成部の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。
さて、今年度も下記の通り「第26回高屋西小学校区区民スポーツ大会」が開催されます。
つきましては、区民スポーツ大会にご参加いただける方を募集いたします
皆様お誘いあわせのうえ、ふるってご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

記

日 時 10月26日(土) 8:30開会

場 所 高屋西小学校グラウンド *雨天時…体育館

募集種目 一般の部
 グラウンドゴルフ 男女別 各1または2チーム (1チーム 4~5名)
 ストラックアウト 男女混合 1チーム以上 (1チーム 男子3名 女子3名)
 玉入れ 男女混合 1チーム (1チーム 男子5名 女子5名)
小学生の部
 ストラックアウト 男女別 各1チーム以上 (1チーム 6名)
 玉入れ 男女混合 1チーム (1チーム 10名)
*雨天時…玉入れ

日 程 8:30~ 8:40 開会式
8:45~10:00 グラウンドゴルフ (男子の部・女子の部)
ストラックアウト (小学生の部)
10:00~10:50 ストラックアウト (一般の部)
11:00~11:20 玉入れ (小学生の部)
11:20~11:45 玉入れ (一般の部)
11:45~12:00 表彰式・閉会式
14:00~15:30 親子スポーツ教室 *別に案内があります

【参加申し込み方法】

ご参加いただける方は出場を希望される種目の欄にお名前などをご記入ください。
当日はお弁当・参加賞をご用意しております。

*例年、選手集めに苦心しております。
多くの方にご参加いただきますよう何卒よろしくお願いいたします。

□ご不明な点がありましたら青少年育成部までお問い合わせください。